

平成19年度 事務事業評価表		担当	都市開発部 都市計画課				内線等	1302
事務事業名	都市景観事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	都市計画法					A 法令		

総合計画での位置付け

基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	都市景観
------	-----------------------	-----	------

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に向け
手 段	都市景観を織り込んだ事業の推進や、良好な都市景観を形成するため市民への啓発をすることにより
想定する成果	自然環境や地域特性を生かした個性あふれる都市景観整備を進める。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
屋外広告物許可件数	141件	128件	150件
違反屋外広告物撤去件数	172件	80件	100件

成果指標

成果指標名	屋外広告物の許可申請率
成果指標の説明	年間許可件数/総許可件数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		22.5%				10.4%				13.1%			
成果指標													
事業費	事業費	0				0				0			
	人件費	3,892				3,905				3,138			
	(人数)	正規	0.5	非常勤	0.0	正規	0.5	非常勤	0.0	正規	0.4	非常勤	0.0
	合計	3,892				3,905				3,138			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	3,892				3,905				3,138			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	まちの景観を損ねる消費者金融業等の違反広告物が増加しており、教育・風致の観点から監視活動、除去活動を推進していかなければならない。
経済効率性	2	2	2	2	人件費以外の事業費は、簡易除去のために必要な資材である。
事務効率性	2	1	2	2	違反広告物が、いつ・誰が・どのような方法で掲出するのか把握できないため、除去作業との繰り返しは避けられないが、現状では現在の方法が最も適切な方法である。
必要性	2	3	2	2	公共施設整備や市民、企業による建築の様々な景観整備が行われているが、周辺の調和等を考えると不十分であり、将来は条例等を策定し、地域の特性や「らしさ」を合わせた指導を推進する必要がある。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	違法な屋外広告物が氾濫し、都市景観が著しく悪化するばかりでなく、放置された広告物の倒壊などにより事故の発生も予想される。
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	住民のまちづくりに対する意識向上や関係職員の意欲の増進は、より良いまちづくりを目指していくうえで意義がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
都市景観基本計画の策定は行っているが、この熟度により次のステップを考えていく。 屋外広告物の内容を都市景観基本計画に基づいた指導をし向上を図る。 建築物等を対象に補助・助成等を行い、地域にあった街並みの実現を図る。
上記改善点の実施状況
良好な景観の形成や公衆に対する危害の防止を図るため、平成18年度より屋外広告業登録制度を導入し、事前に知事への登録が必要となり、屋外外広告物を無許可で表示したり、禁止区域に屋外広告物を設置するなど、違反を繰り返す悪質な業者の排除と優良な業者を育成することができるようになった。

今後さらに改善すべき点

県と協議し景観行政団体となれば地域にあった景観に関し条例制定などができ、景観に関して立てた計画などと整合を図ることにより、より良い景観を創出することが可能である。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

